

ZENSATO Monthly

全里マンスリー

2017年2月号 VOL.86.

2017年2月10日(金)(公財)全国里親会

社会貢献者表彰 候補者推薦のお願い

(公財)社会貢献支援財団(会長 安倍昭恵)は、功績のあった人を表彰しており、昭和46年設立以来12261件の表彰をしています。次回表彰について、4月30日までに推薦してほしいとの案内がきております。発表は9月下旬の予定。

表彰候補者の募集要項、推薦書などについては下記ホームページを参照ください。<http://www.fesco.or.jp/>

日本学生支援機構は要保護児童向けに給付型奨学金を

日本学生支援機構は里親家庭などの児童に対し給付型の奨学金を開始すると発表しました。入学時に24万円、在学中は月額2~4万円。詳しくは日本学生支援機構のホームページを参照ください。

<http://www.jasso.go.jp/shogakukin/chihoshien/sosei/index.html>

千葉市は要保護児童の進学に給付型の奨学金を行う

千葉市と(公財)新日育英奨学会は連携しながら、社会的養護が必要な子ども・若者に教育支援として、千葉市推薦児童の在学期間中、給付型奨学金(月額5万円)を支給すると発表しました。

東京都は里親へのゼロ歳児委託を積極的に行う方針

東京都は、来年度から里親へのゼロ歳児委託を積極的に行うと発表しました。これまで、ゼロ歳児を里親に委託した実績のある都道府県で、東京都は最も低かったのですが、児童福祉法の改正もあり「乳幼児期は特定の大人との愛着形成が極めて重要」との都児童福祉審議会の提言を受けて、里親への事前研修などにも予算を付けていくとしています。

日本財団が「養子縁組に関する調査」を発表

日本財団は昨年12月に「養子縁組家庭に関するアンケート調査」の結果を発表しました。この調査は2つの養子縁組団体「家庭養護促進協会大阪事務所」と「環の会」の協力を得て行われたものです。報告のポイントは下記の内容です。

- ・養親は一般家庭に比べて高学歴で年収も高い
- ・真実告知している家庭は8割(調査時点で)
- ・養親家庭は教育熱心
- ・養子縁組をした子どもは一般的な子どもに比べて自己肯定感が高い

この調査の概要は2月20日発行の『里親だより』(2017年冬・111号)でご案内します。

福祉行政報告例が発表されました

平成27年度の福祉行政報告例が発表になりました。それによると、里親登録数は10,679と前年を7.4%上回り1万台となりました。委託里親数は3,817で登録に占める割合は35.7%です。

合は35.7%です。

里親に委託されている子どもは4,973人で、この1年間に新規委託された子どもは1,550人、里親から委託解除された子どもは966人。約半数の子どもが1年間のあいだに移動しています。

また里親家庭から措置変更になった子どもは327人(6.6%)となっています。措置変更の理由については調査されていませんが、いわゆる不調と言われるものもこのなかに含まれています。

都道府県(市)の動きなど詳しくは『里親だより』(2017年冬・111号)でお知らせします。

神戸に「こうのとりのゆりかご」新設計画

「こうのとりのゆりかご」は実親が育てられない子どもを匿名で預かる仕組みです。現在は熊本県の病院1か所で行われていますが、このほど、新たに神戸市内の助産院に設置したいと市民団体が発表しました。実現すれば2例目となります。(2月10日日程)

全国里親会 2月・3月委員会、研修会等の予定

- ・2月7日 業務運営委員会(29年度事業について)
- ・2月10日ブロック長会議&合同委員会、評議員会(定款変更 事業に収益事業を追加)
- ・2月13日 第三者委員会(指摘事項に対する改善進捗状況)、業務運営委員会(29年度事業)
- ・2月20日(月) 児童福祉主管課長会議(厚労省講堂)
- ・2月25日(土) 14時から17時「社会的養護を担う人の育成」国立障害者リハビリテーションセンター(参加締め切り2月15日) 参加費無料
- ・3月10日(金) 10時から16時30分「退所児童など支援事業全国セミナー」新霞が関ビル 灘尾ホール(参加締め切り2月28日) 参加費1000円

養子縁組に関する調査」ご協力の御礼

12月に日本財団で実施しておりました「養子縁組に関する調査」にご協力いただき、誠にありがとうございました。おかげさまで、調査票も回収が無事終了し、現在、集計分析を進めております。一部の皆さまにおかれましては、ご協力依頼の到着が遅れましたこと、また短期間での調査実施となり、お手数をおかけしましたことお詫び申し上げます。調査結果は、4月の公開を目指して準備を進めておりますので、引き続きご関心をお持ちいただければ幸いです。里親会の皆さま、児童相談所の皆さま、個人としてご協力くださった皆さま、調査へのご協力、重ねて御礼申し上げます。(日本財団 福祉特別事業チーム 高橋・徳永)

1月の寄付

お二方からご寄付をいただきました。有り難うございました。Tさん10万円、Mさん5千円。